

座間市長機働課第14条関係)

和 4年 4.20 受付
第 号

相互提案型協働事業実施報告書

令和4年 4 月 20 日

(宛先) 座間市長

団体 住 所 座間市入谷東2丁目8番2-914

名 称 NPO 法人ざま災害ボランティアネットワーク

代表者氏名 濱田 政宏



市 担 当 課 子ども育成課

所 属 長 正田美知子



次のとおり報告します。

1 事 業 名	児童ホームの防災対策事業
2 事 業 形 態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選 考 年 度	令和2年度選考 (令和3 年度実施)
4 報 告 期 間	令和3年 4月 1 日 から 令和4年3月31日 まで
5 事 業 費	308,056 円 (うち座間市支出分 282,000 円)
6 事 業 概 要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	令和元年度から取り組んできました「児童ホームの防災対策事業」は折からの新型コロナウイルスの感染拡大に伴い計画を修正しながら、担当課との連携によって何とか終了することができました。 当初の計画では、3年間の期間中にできない施設については、協働事業終了後個別協定を行って実施する計画でしたが、オミクロン株の感染拡大などに鑑み、担当課より繰り上げ実施の要請があり、調整の結果全ての施設に対して取り組むことができました。 ただ、ガイドブック、マニュアルの作成を行い、さらには保護者や入所希望される方への資料として作成に取り組んできたマニュアル等を使って、児童ホーム職員に対しての研修が予定していたが、オミクロン感染によってできなかったことが心残りである。 児童たちの熱心な参加姿勢は素晴らしいものを感じ、機会があれば定期的に実施できればと考えています。
7 添 付 資 料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input checked="" type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	児童ホームの防災対策事業
-----	--------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	十分に達成できた。 当初の計画を上回る施設の訓練などを行うことができた。	児童ホームでの訓練について、昨年度中止した分を含め、実施することができました。 施設ごとの災害対策マニュアルを作成し、各児童ホームに備え付けることができました。 保護者向けのリーフレットを作成し、配布することができました。 3月に実施する予定だった研修会は、新型コロナウイルス感染拡大により中止しました。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	何よりも、人事異動の効果であると思う。担当職は危機管理課と一緒に協働事業を取り組んできたこともあり積極的な提案もしてくれて、原案を提示すればそれに沿った編集などを行ってくれた。施設との調整もうまくいったが急遽当初案になかった施設への研修もという要望があり引き受けざるを得なかったのはきつかったが、最終のスタッフへの研修を除き、ほぼ、予定通りに行うことができた。	全14児童ホームでの訓練が完了したことにより、危機管理・防災に対する共通認識を持つことができました。 児童ホームごとの災害対策マニュアルを整備したことにより、児童ホーム指導員がより具体的に緊急時の対応をイメージすることができるようになりました。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	<p>担当するメンバーとの調整もうまくいった。担当課の職員の立ち合いも十分にでき安全の確保もできた。課題認識は以前から担当者とも十分に共有できていたので問題はなかった。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により昨年度未実施施設を含めた訓練及びマニュアルの整備を目標とし、達成することができました。毎年度実施することとしていた研修会は新型コロナウイルス感染拡大を受け、団体と協議の上中止しました</p>

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	<p>消防署の協力もスムーズに行うことができ実際の火災に向かったの消火体験もできた。</p> <p>担当者は、スケジュールも完ぺきに調整してくれて不便なこともなく核施設スタッフも興味を持って参加してくれた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により9～11月に予定していた訓練を延期しましたが、再調整の上12月に実施することができました。</p> <p>児童ホームの行事等により、訓練の日程変更の必要が生じた際も団体と連携し、速やかに対応することができました。</p>
対 等 な 関 係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	<p>3年目であり大過なく行うことができた。しかし、昨年度のコロナでできなかった施設が途中から追加され、厳しい面もあった。対等な関係は維持できた。</p>	<p>対等な立場で協議することが出来たと考えます。</p>
相 互 理 解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	<p>問題なく行うことができた。これも、危機管理課で共に協働事業を取り組んできた仲間でもあり、担当課長は協働事業を軌道に乗せる初動期に苦労した仲間だったことも幸いした。人事異動の効果は抜群だった。</p>	<p>昨年度の訓練延期を受けタイトなスケジュールになりましたが、綿密な日程調整を行い、訓練の完了に繋げることができました。マニュアルの内容を細かく検討したり、保護者向けリーフレットの仕様について意見を交わしました。</p>

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果すことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	<p>(団体の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プログラムの作成と調整 ・訓練機材の借用手続きの実施 ・プログラムの微調整 ・防災教室、ゲームの実施 ・火炎を使う訓練であるので安全管理 ・コロナ感染防止には細心の注意を払った。 	<p>(市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の確保 ・施設との連絡 ・スケジュール調整 ・庁内関連部署との調整 ・保護者向けリーフレットの配布

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	適正だった。	適正であったと考えます。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	<p>当初案をはるかに上回る件数の施設への研修を行うことができた。ただ、スタッフへの研修は第6波の影響による業務の繁忙で実施できなかった。</p>	予定通り実施することができました。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	<p>協働でなければ行うことができなかったと思う。ガイドライン、マニュアル、保護者用のリーフレットも作ることができた。</p>	<p>団体と協働して実施することで、危機管理・防災に関する専門的な知識をマニュアルに反映することができました。</p> <p>協働で実施したことにより、児童ホーム指導員の防災意識を持続的に向上させることができました。</p>

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>今回の3年間の活動は、コロナ感染拡大、収縮の繰り返しの隙間を縫っての活動となった。大変だったが、子供たちが非常に熱心に取り組んでくれたことは我々にとってもスキルを上げることができたし、子供たちにも記憶に残ってくれたと思う。</p> <p>ただ、関係部門長などが施設へ見学に来てくれることを期待していたが、結局は部署内での情報の共有すらできないことを痛切に感じた。</p> <p>さらに言えば、教育部も関心を持つてくれるかなと期待したが残念である。結局は縦割り行政の遺構が残っているのではないかと思う。</p> <p>役所のこの種の研修は、年度末になるとアリバイづくりのためかと思うように行われる傾向がみられる。本来ならば、新任職員、スタッフ（児童ホーム）が決まって受入が行われる前に行わなければ何もならないと思う。この点は至急手をうって欲しい。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>ガイドライン、マニュアルを整備することができたので、これらを十分に活用し、児童ホームの危機管理能力を持続させたいと思います。</p> <p>また、訓練で培った経験を、保護者説明会や新規採用指導員研修時の啓発に繋げられるよう、児童ホーム指導員の資質向上に引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>

予算の件について一言申し上げたい。

昨年度は、コロナ感染拡大で計画のほとんどが実施できずに終わってしまった。そのために、今期期首に23万円を返還した。

年度の途中に、担当者から災害が多くなってきているので、未実施の施設についても年度中に実施してほしいとの要望があった。

予算措置がないままに、やらざるを得なかった。子供のいのちがかかる課題であるのでなんとしても実施しようと担当者は12月28日まで計画、調整をしてくれて行うことができた。

しかし、協働課へ予算修正の相談を行ったが、年度決めの予算なので追加はできないという返事だった。不幸中の幸いなのか？スタッフへの研修ができなくなり多少なりとも予算の流用ができたが結局のところ単価を切り下げる方法で予算内で行ったが、団体が不足分を埋めることになった。

このような、事態は今後出ることを想定して予備費を協働課が確保して実施団体へ負担がかからない配慮をお願いしたい。このままでは協働事業を受ける団体がなくなることを心配している。